

令和5年度海水浴場の水質調査の実施について

記

1 概要

本格的な海水浴シーズンを迎える前に、市民が安全かつ快適に海水浴を楽しめるように、市内の主要な海水浴場について、水質調査を実施します。この水質調査は、環境省の依頼に基づき全国で実施されており、本市においても昨年と同様に実施するものです。

2 調査対象となる海水浴場

岩屋海水浴場及び脇田海水浴場

3 調査実施日時

1日目：5月10日（水）岩屋海水浴場：10：00～、脇田海水浴場：11：00～

2日目：5月17日（水）岩屋海水浴場：10：00～、脇田海水浴場：11：00～

岩屋海水浴場の作業が終わり次第、脇田海水浴場へ移動し、作業を実施します。

4 調査項目

(1) 海水浴場の判定基準項目【5月10日（水）及び5月17日（水）】

ふん便性大腸菌群数、油膜の有無、COD、透明度

(2) 参考項目【5月10日（水）（pH及び水温は5月17日（水）も測定）】

pH、水温、腸管出血性大腸菌 O-157 等

5 取材にあたっての留意点

(1) 市が使用する船舶に取材目的の同乗はできません。海上での取材を希望される場合は、各自で船舶の手配をお願いします。

(2) 海水浴場の駐車場又は、民営駐車場をご利用ください。

(3) 荒天等による調査日時の順延の判断は、調査当日の 9：00 までに環境監視課が行います。下記問い合わせ先までご連絡ください。

6 その他

調査結果は、福岡県が北九州市を含む県内の調査結果を取りまとめ、6月中旬頃に公表します。その後、環境省が全国の調査結果を取りまとめ、7月上旬に公表します。

7 添付資料

(1) 海水浴場水質判定基準 資料 1

(2) 調査対象海水浴場情報と過去の調査結果 資料 2

(3) 水質判定基準等用語解説 資料 3

問い合わせ先

北九州市環境局環境監視部環境監視課

電話 093-582-2290

担当（課長）江藤、（係長）久保田

海水浴場水質判定基準

項目 区分		ふん便性大腸菌群数	油膜の有無	COD	透明度
適	水質 AA	不検出 (検出下限 2個/100mL)	油膜が認められない	2mg/L 以下	全透 (1m 以上)
	水質 A	100 個/100mL 以下	油膜が認められない	2mg/L 以下	全透 (1m 以上)
可	水質 B	400 個/100mL 以下	常時は油膜が認められない	5mg/L 以下	1m 未満～ 50cm 以上
	水質 C	1,000 個/100mL 以下	常時は油膜が認められない	8mg/L 以下	1m 未満～ 50cm 以上
不適		1,000 個/100mL を超えるもの	常時油膜が認められる	8mg/L 超	50cm 未満※

(注1) 環境省の示す水浴場水質判定基準のうち、海水浴場に係る判定基準について記載した。

(注2) 判定は、測定値の平均による。

「不検出」とは、平均値が検出下限未満のことをいう。

透明度(※の部分)に関しては、砂の巻き上げによる原因は評価の対象外とすることができる。

調査対象海水浴場情報と過去の調査結果

海水浴場名	海水浴場情報			調査結果 (シーズン前調査)	
	開設時期	管理主体	昨年度 年間利用者数 (シーズン中)	令和4年度	令和3年度
岩屋 海水浴場	7月2日 (日)	岩屋観光組合 (連絡先) 741-1131	約9千人	水質 AA	水質 AA
脇田 海水浴場	未定	ひびき灘漁業 協同組合 (連絡先) 741-0795	約8千人	水質 AA	水質 AA

水質判定基準等用語解説

【ふん便性大腸菌群数】

大腸菌及び大腸菌によく似た性状の菌の総称で、畑の土の中などにも見られるが、一般的には人や動物の排泄物に多く存在するので、ふん便等による水質汚濁の程度を表す指標として用いられる。

【油膜】

油分による汚濁の有無を調べるために、水面上の油膜を目視により確認する。

【化学的酸素要求量（COD）】

水中の有機物の汚濁の程度を表す指標として用いられる。この値が大きいほど水質汚濁が進行している。

【透明度】

水の透明度は、直径 30cm の白色円板を水中に沈め、これが見えなくなる深さと引き上げていって見え始めた深さとを平均し、メートル（m）で表示したものである。

【腸管出血性大腸菌 O-157】

O-157 は、腸管出血性大腸菌に属し、下痢を起こす大腸菌である。

通常 O-157 の感染は飲食物を介する経口感染で、O-157 に汚染された飲食物を摂取するか、患者のふん便を何らかの理由により直接口にすることが唯一の原因である。